

香川県立三本松高等学校 同窓会



百周年記念館 展示の改修

展示コーナーの一角に懐かしい校舎が現れました。昭和40年から 平成29年まで使用された校舎の2号館と3号館の間の中庭です。

目次

ごあいさつ ――――	2
令和5年度理事会 ——————	3
創立百二十周年事業 —————	4
百周年記念館 展示の改修	4
タイムカプセル開封式 ———	5
支部だより	6
叙勲、寄贈 ————————————————————————————————————	8
三高生の活動	9
進路状況 ————	10
事務局より	12







交流の進展

会長 **名 渕 薫** (三高24回卒)

大中三高会の皆様、空が澄み清々しい秋を 感じる季節となりました。日頃から同窓会活動 にご協力をいただき感謝申し上げます。

コロナ感染症が本年5月より「5類感染症」に移行され、法律に基づく様々な要請・関与から個人の選択が尊重され、感染予防と経済回復の両面で対応することとなりました。

大中三高会の本部総会、懇親会も6月に開催され、役員改選をはじめ議案審議も活発に行われて、交流を深めることができました。今後、正副会長会、幹事会、理事会を通じ、同窓会活動の活性化、母校への支援等にスピード感をもって対応していきたいと考えています。

さて、少子化、高齢化で地方経済の活力の低下が懸念され、母校においても大きく定員割れが生じておりますが、東かがわ市との包括連携に関する協定による取り組みが進められ、更なる地域との協力を通じ、橋本校長先生をはじめ、教職員の皆様も対応していただいております。

教育改革の議論とともに、新たな施策も打ち 出され、母校の教育現場でもご苦労が多いこと と思いますが、同窓会としても、それらの活動 状況の中で、母校に支援できることを共有しな がら各種事業を検討する必要があると考えてお ります。

私の年次も「卒後50年」となり、記念同窓会と有志による募金活動を通じ、母校の教育後援基金に支援をさせて頂きました。この記念同窓会は30年を越え、母校に寄せる同窓生の思いと期待の重さを実感いたしました。

最後になりますが、同窓生の皆様のご健勝および各支部、地域や職域等での交流が再開できることを祈念するとともに、同窓会の運営に変わらずのご支援、ご協力をお願い申し上げご挨拶といたします。



ご挨拶

校長 橋 本 和 之

大中三高会の皆様方におかれましては、日頃、 本校の教育活動にご理解、ご協力、また、物心 両面にわたり多大なるご支援を賜りまして誠に ありがとうござます。あらためて深く感謝申し 上げます。

令和5年4月1日付で校長を仰せつかりました 橋本と申します。前任は県教委高校教育課で、 高校の再編整備や高校入試制度の見直しなどの 仕事をさせていただいておりました。この度、 120年以上の歴史と伝統を誇る、県下でも有数 の三本松高校で、生徒の皆さんと共に過ごし、 その成長を見られることにこの上ない喜びを感 じているところでございます。同窓会の皆様か らもいろいろとお教えいただきながら進めてま いりたいと考えてございます。どうぞよろしく お願いいたします。

さて、少子化に伴う生徒数の減少が進む中、 わが三本松高校では、生徒から選ばれる高校と なるよう、これまでの歴史と伝統を重んじなが ら新しい取り組みを実践するなど、特色化・魅 力化を進めているところです。

そのような中にあって、生徒の学びが充実したものとなるよう、「香川県立三本松高等学校教育後援基金」を創設していただいたことは本当にありがたいことであり、学校だけでは難しいことも、同窓会の皆様をはじめ地域の多くの方のご支援によってより良い環境を整えることができます。

また、特色化・魅力化の一環として、全国からの生徒募集も行っております。他地域からの 生徒が地元地域の生徒に刺激を与えてくれることにも期待しておりますので、募集活動等にも ご協力いただけましたら幸いです。

今後も引き続き、特色化・魅力化に努めてまいりますので、なお一層のご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和5年度 大中三高会理事会

令和5年6月10日(土)午後3時より「瀬戸内リゾートベッセルおおち」にて開催しました。 69名の出席があり、議題にそって進められ、午後5時閉会しました。引き続き、3年ぶりの懇親会 を開き、午後6時半に解散いたしました。

議題

- 1、令和4年度事業報告および会計報告について
- <令和4年度事業報告>
- ○行事

創立百二十周年記念事業 総会・祝賀会 11 月 5 日(百周年記念館) タイムカプセル開封式 1 月 2 日(〃) 南原ウォーク 12 月 10 日(生徒会主催)

大中三高会入会式3月1日

- ○会報「第51号」3,000部 10月1日発行
- ○奨学金 21 名に給付
- ○役員会

会長副会長会 5 月 11 日、7 月 13 日、10 月 18 日、 3 月 31 日

幹事会5月11日

理事会6月11日(東かがわ市交流プラザ)

○支部

各支部長との情報交換会8月31日(リモート) 関西支部役員会5月14日(リモート) 関西支部役員会2月23日(大阪市中央公会堂) ※各支部総会中止

- ○卒業 50 周年記念寄付
 - 三高 23 回卒有志 (追加) 10 月 31 日
 - 三高 24 回卒有志

3月30日

○その他 南原繁研究会6月29日(リモート)

令和4年度 大中三高会会計収支決算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

【収入の	部】			(単位:円)
費			決算額	摘要
1 入	会	金	1,332,000	
2 会	員 会	費	2,446,652	1,005件 「会費2,667,152円 – 手数料220,500円」
3 雑	収	入	1,001,244	寄付金1名、預金利息
当年度収入合計			4,779,896	
前年度繰越金			5,663,598	令和3年度から繰越
合	計		10,443,494	

【支出の部】			(単位:円)
費		決算額	摘要
1 会 議	費	47,026	会長・副会長会、幹事会、理事会
2 旅	費	27,466	小杉高校訪問、支部役員会出席
3 慶 弔	費	15,000	弔慰金
4 通 信	費	107,244	電話料金、郵便切手等
5 事 務	費	274,833	事務管理費、謝金、学校案内等印刷代 事務用品購入、ドローン維持管理費
6 行 事	費	156,260	創立記念餅代、南原ウォーク経費 卒業証書ファイル代
7 会報発	行 費	727,584	会報第51号印刷及び発送費
8 学校施設整	6備費	4,081	資料館維持管理費
9 育 英 事 事	業費	1,000,000	奨学金
10 南原文庫充	三実費	196,851	図書の購入代137冊
11 部活動後	援費	170,000	全国大会出場補佐(定時制柔道1名、 定時制卓球1名、三高みんなの食堂 プロジェクト4件)
12 雑	費	10,275	「香川県公立高等学校同窓会協議会」 会費
13 予 備	費	500,000	教育後援基金へ振替
当年度支出台	計	3,236,620	
次年度繰越	金	7,206,874	令和5年度へ繰越
合 計	•	10,443,494	

2、令和5年度事業計画および予算について

- <令和5年度事業計画>
- ○行事

文化際 9月 9日 (一般公開) 南原ウォーク 12月 9日 大中三高会入会式 2月 29日

- ○会報「第52号」3,000部 10月1日発行
- ○奨学金 12月中
- ○役員会

会長副会長会5月10日、7月28日、3月中旬 幹事会5月10日・30日、3月下旬 理事会6月10日(瀬戸内リゾートベッセルおおち)

○支部

高松支部総会 10 月 14 日 (高松国際ホテル) 東京支部総会 10 月 21 日 (主婦会館プラザエフ) 関西支部総会 11 月 25 日 (ニューオーサカホテル)

令和5年度 大中三高会会計予算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

【収入の部】				<u>1</u>)	单位:円)
費	目	予算額	摘	要	
1 入 会	金	1,150,000			
2 会 員 会	費	2,500,000			
3 雑 収	入	126			
当年度収入台	計	3,650,126			
前年度繰越	金	7,206,874	令和4年度から繰越		
습 計		10.857.000			

【支出	の部】			(単位:円)
費	ť	I	予算額	摘要
1 会	議	費	300,000	会議経費
2 旅		費	500,000	支部総会等出席旅費
3 慶	弔	費	200,000	支部祝金、慶弔金等
4 通	信	費	250,000	電話料金等
5 事	務	費	600,000	事務管理費
6 行	事	費	1,000,000	創立記念餅代、南原ウォーク 卒業証書ファイル代、学生行事参加費 学年同窓会事務経費
7 会	報発	行 費	1,000,000	会報第52号印刷及び発送費
8 学村	交施設園	整備費	1,500,000	樹木等管理費、資料館維持管理費
9 育	英事	業費	1,000,000	奨学金
10 南原	原文庫ラ	た実費	200,000	図書の購入
11 部	活動後	接費	500,000	全国大会・国際大会出場補助
12 雑		費	30,000	
13 予	備	費	50,000	
当年	度支出位	合計	7,130,000	
次全	F 度繰越	金	3,727,000	令和6年度へ繰越
	合 訁	†	10,857,000	

3、役員の改選について

別紙「大中三高会役員一覧表」のとおり

4、報告事項

- ○香川県立三本松高等学校教育後援基金について
- ○香川県公立高等学校同窓会協議会について

創立百二十周年記念 大中三高会総会・祝賀会

令和4年11月5日(土)

三本松高校百周年記念館で、大中三高会総会 を開催いたしました。76名の卒業生が集い、会 則の確認などをおこないました。

総会後、原副会長による「新校舎建築の経緯について」、泉谷校長より「三高みんなの食堂プロジェクト」など生徒の活動報告がありました。

その後、新体育館と校舎を見学し、最後に屋上から瀬戸内海を眺め、在校当時と変わらない 風景を懐かしみました。



大中三高会総会

来賓として東かがわ市長をお迎えし、祝賀会 を開催いたしました。その後、親睦を深め、最 後に校歌を流し、百二十周年を祝いました。



祝賀会 (東かがわ上村市長のご挨拶)

百周年記念館 展示の改修



百周年記念館には明治33年の学校創設以来の貴重な資料が保管・展示されています。この度、2001年(平成13年)の開館以降初めて資料展示の改修・追加が行われました。

改修点の一つとして、2015年に取り壊された2代目の校舎の姿を残すために、展示室中央の壁面全体に、当時の中庭の風景を写した大きな写真を取り付けました(表紙参照)。2代目の校舎は、現在最も多くの卒業生が学んだ校舎ですが、この壁面の写真を見ると自分の高校時代の思い出が生きいきとよみがえってくるような思いがします。

2点目は、展示ケース内に設置された本校の歴史の説明パネルを追加したことです。説明パネルはこれまで平成時代の途中までしかありませんでしたが、新しく一枚追加し、それ以降の時代の主な出来事、新校舎の建設や甲子園ベスト8進出などの記事や写真を掲示しました。これで令和の説明パネルが加わり、展示室が少し狭く感じられるようになりましたが、それぞれの時代の雰囲気や情勢がよく分かります。たとえば、本校に通ってくる生徒の出身地の変遷を示したグラフなどは興味深い資料です。

リニューアルされた資料館にできる限り多く の来館者が来られることを期待しています。

なお見学を希望される方は、事前に同窓会本 部にお申し込みください。

5

タイムカプセル開封式

令和5年1月2日(月)百周年記念館において、170名の参加のもと「タイムカプセル開封式」が開催されました。カプセルには、創立百周年時に在籍していた生徒・職員等が「20年後の自分に充てたメッセージの葉書」のほか、ルーズソックス、プリクラ、文化祭のパンフレット、携帯電話などが入っていました。開封が進むと何度も歓声があがりました。葉書は、当時の先生方から、参加者一人一人に手渡されました。

なおこの開封式のために、約半年前から三谷保人さん(三高 52 回卒)を委員長として実行委員会が結成され準備をしてきました。実行委員のみなさんお疲れさまでした。



未来の三高生へ繋ぐ想い

実行委員 木村 則之 (三高53回卒)

2000年12月21日。私達、生徒会執行部はタイムカプセルの封をしました。この年、三本松高校は創立百周年を迎え、様々な記念行事が行われました。その一つとして、全校生徒、教職員、文化祭に来校していた一般の方々が20年後の自分へ宛てたハガキと当時流行していた物をタイムカプセルに詰めて、文字通り、まだ見ぬ未来の三高生へと思いを繋ごうとしたのです。

そして迎えた 2020 年。世界中で新型コロナウイルスが猛威を振るい、私達は人との接触をできるだけ避ける生活を強いられました。大勢が集まるイベントは自粛、延期を余儀なくされ、タイムカプセルも百周年記念館で静かに眠ったままとなりました。

さらに2年が経ち、当時の在校生、教職員の 有志で開封式を執り行う運びとなりました。し かし中のハガキを配って終了は味気ない。いっ そのこと大きな同窓会にしてみては?というこ とでイベントの大枠が決まったのですが、それ をどうやって全員に周知するのか? というの は大きな課題ではありました。

予想通り、20年という時の中で人間関係や生活環境も大きく変わり、一人一人に直接連絡を取るのは各学年とも苦労しました。しかし学生時代は物珍しかった携帯電話、そして存在すらしていなかったSNSといった技術の進化に助けられました。学年や当時の交友関係を越え、個人やローカルなコミュニティをたぐり寄せて、最終的にはたくさんの人に開封式へ足を運んでいただけました。

当日は心配していた天気にも恵まれ、百周年 記念館は歓談の声や笑い声で溢れました。久し ぶりに顔を合わせられたというだけではなく、 コロナ禍では感じられにくい、人との繋がりを 間近に感じることの安心感や喜びの気持ちがそ こにはあったのではないかと思います。

開封式は盛況のうちに幕を閉じましたが、タイムカプセルを通じて在校生と交流することはできませんでした。ハガキ以外の物は、未来の三高生(現在の在校生)に宛てた、私達からの「西暦 2000 年という時代」の説明書のようなものでした。もしも在校生と共に開封式が行われていたら、見慣れない物を見て不思議に思ったり、今ならどんなグッズを入れてみようかと考えたり、2040 年の予想を語り合ったりする場があったかもしれません。

後日に行われたタイムカプセル開封式実行委 員長の在校生に向けた話を聞いた時に、そうい うことを想像した在校生がいてくれたとしたら 嬉しく思います。

当時の学生達の「横の繋がり」、これからの 学生達の「縦の繋がり」。これらを結ぶ仕事を タイムカプセルはしっかりと果たしてくれまし た。長い間お疲れ様と言いたいです。

最後に、このような歴史の中の記念すべき一節の出来事に立ち会い、携われたことを光栄に思います。未来の三高生が二百周年記念事業を企画できるように、この思いが繋がっていくことを願っています。



当時の先生から葉書を受け取る卒業生

支部だより

東京支部総会の開催について

東京支部長 永 峰 徹

(三高 18 回卒)

東京支部総会は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、令和2年、3年、4年の支部総会開催を中止としました。現状の東京地区の新型コロナウイルス感染症は5類移行後、若干増加傾向にありますが収まっている状況です。

今年の支部総会は4年ぶりに対面で開催します。例年と同様10月の第3土曜日、10月21日に「主婦会館プラザエフ」で開催します。楽しみにして頂いていた会員の皆様、期待してご参加下さい。支部総会では、事業報告等の議案承認以外に、懇親会に於いて、支部会員による有益な講演会を毎年開催しております。

今年は、筑波大学システム情報系助教の萬礼応さんに「人と協働する知能ロボットと社会実践」の議題で、ロボット用のセンシング技術や近年話題になっている AI 機械学習等などを使った知能ロボットの活用例の講演をお願いしています。本会報が届いた時は、まだ支部総会の開催前です。参加希望があれば、東京支部のメールアドレスには(sada75@kf7.so-net.ne.jp)までご連絡下さい。

現状の東京支部会員は、約600名です。新型コロナの影響で、ここ数年は一方的に支部総会中止の連絡を発送してきました、会員の推移が十分把握できていない状況ですが、本部と協同して最新の宛先で案内状を発送しました。

東京支部の特徴として、大中卒から現役の学生さん迄の幅広い参加者が参集していることです。



講演で耳を傾ける参加者(平成30年度総会)

特に今年は、新型コロナ感染から解放された学生さんの積極的な参加を期待しています。

今年は、新型コロナが5類移行する等の環境 変化があり、正常な日常生活が戻ってきました。

過去4年間の空白を埋めれるように笑顔で支部総会に参加して頂きたいと思っています。東京支部は、種々の活動を行ってきましたが、案内状送付の見直しや役員会の世代交代、総会の改善に取り組んでいます。まだ不足している点も多く、皆様からのご指導をお待ちします。

この1年の活動を振り返って

関西支部長 谷 口 廣 重

(三高 25 回卒)

関西支部は近畿 6 府県で構成されています。 元々は大阪支部で発足し、その後京都、滋賀、 奈良、和歌山を加え約10年前に関西支部とし しました。卒業生数は全体で1100人、内訳は 大阪 600人、兵庫 300人、京都、奈良、滋賀、 和歌山の200人で約6割は大阪です。

これまで支部活動として大阪で定期会合のみを行って来ましたが、新型コロナ感染で交流が 停滞していたので新しい行事を取り入れることに しました。

まずはコロナ禍もあり野外活動から始め、10月は関西大学野球応援(京都)、11月は紅葉と虎を観る会(奈良の信貴山)を実施し、会員の相互交流を図りました。文化や芸術分野に関しては、重要文化財建築の大阪市中央公会堂に三高の泉谷校長をお招きして、「三高みんなの食堂プロジェクト」などについて講演を頂きました。

会合についてはコロナ感染が始まった 2020 年以来リモートを併用し行っており、場所を選ばず何処からでも参加できるので三高本部とのリモート会議も昨年に引き続き本年の4月に行い、滋賀、奈良、兵庫からの参加もありました。また、会合の場所を大阪以外で初めて卒業生の多い兵庫県の神戸市で行い、新しく数名が参加して有意義な会となりました。詳しい活動は「関西支部だより6号」(三高 HP 同窓会ページに掲載)をご覧ください。

7

対外的な活動として、「大阪香川県人会」が 5月に開催されて支部から5名参加し、他の香川 県高等学校同窓会メンバーや、県や自治体関係者 とふるさとの情報共有や人的交流ができました。

支部の運営は全世代(全学年)で幅広く分担、協力する体制が必要と思っております。現在は 事務局を作り、学年毎に世話役を選任している ところです。

今年度の同窓会は11月25日(土)午後から ニューオーサカホテル(新大阪駅)で予定してい ます。皆様の同窓生を誘い合ってご参集ください。

関西支部のメールアドレスは、

daityu.sanko.kansai@gmail.com



関西支部役員会 中央公会堂(2023年2月23日)

高松支部令和5年度の支部総会について

高松支部長 軒 原 正 浩 (三高 30 回卒)

高松支部の会員並びに同窓生の皆様には、日 頃よりご支援、ご協力を賜り厚く御礼を申し上 げます。

高松支部では、5月10日の理事会において、 令和5年度の第35回高松支部総会を10月14日 (土) に高松国際ホテルにおきまして、4年ぶり に開催することを決定いたしました。

令和元年まで毎年開催をしておりました総会には、本部、東京支部、関西支部の各役員並びに会員の皆様をはじめとして、支部内外から多数の皆様にご出席頂いており、総勢100名を超えようかという年もありました。これは高松支部総会が参加に制限が無い事もあって、全ての同窓生の親睦・交流の場としていかされているものと考えておりますので、今後も沢山の同窓生の皆様にご参加いただけるような集いの場に

してまいりたいと思っております。

現在、三本松高校は、120年余りの長きにわたって諸先輩方から受け継いできた輝かしい歴史と伝統を如何にして末永く次世代に継承していけばよいかと言う課題に直面しておりますが、本部の皆様と常に情報を共有しながら、課題解決のために支部として、また同窓生の一員として協力をしてまいります。

高松支部の今年度の他の活動としましては、 12月に開催予定の第10回南原ウォークや三高 みんなの食堂に対しましても昨年に引き続き参 加、協力をしてまいりたいと考えております。

いつコロナ禍が終息するかは、全く判りませんが、来たる支部総会におきまして、皆様と笑顔で再会できますことを、そして母校の校歌を合唱できますことを役員共々楽しみにしております。



高松支部理事会

の個職員の集いる。

三本松高校創立記念日の4月26日、4年ぶりに旧職員のつどいを行いました。この集まりは、 故河野先生が発案され、今回で15回目となり ます。17名の先生方が集い、近況報告や在職された頃の想い出を話しました。

お昼は、三高みんなの食堂で定食を食べ、そのあと、校舎を見学し、以前のままの樹木、新校舎に設置されている旧校舎時代のモニュメントを見て昔を懐かしみました。

来年の4月26日に再会することを約束し、解 散いたしました。



百周年記念館 図書室



卒業 50 周年記念 三高 24 回卒同窓会

代表ノト 北 逸 (三高 24 回卒)

三高卒業後50年にあたり、先輩方から引き 継がれてきた事業がある。これは平成5年に大 中38回卒業生が始めて以来、約30年に渡って 受け継がれているもので、今回三高第24回卒 業生がその代となった。

1. 「50年にちなんで50万円の寄付」母校で多 くのことを学んだ感謝の念を表し、さらなる発 展に寄与する事業。

令和5年3月30日(木)校長室において三高 第24回卒業生より募金贈呈式を実施した。こ の準備期間10回程の打ち合わせを行い、多く の同級生に世話人としてご協力いただいたこと に感謝したい。

2. 「合同同窓会の開催」全クラス一同の合同 同窓会は未実施のため、クラスを超え懐かしい 友と再会し有意義な集まりとする事業。

令和5年3月19日(日) 恩師二人を招き総勢 72名による合同同窓会を開催した。50年の月 日は残酷であったが、青春時代や近況を語り合 え、会話に途切れがなく盛り上がり、全員大満 足となった。

(評価反省及び今後の課題)

- ・クラスごとに世話人を置くことにより打ち合 わせが順調に進んだ。
- ・早々に各クラスでの同窓会を開催する計画が 練られていた。
- ・振替口座を都度開設せず引き続き使用できれ ばと思う。
- ・今後生徒数が減少する中、寄付額設定の必要 性はいかがなものかと思う。

最後に24回卒業生の皆さん「ご縁」を大切に。



三高24回卒合同同窓会の開催(令和5年3月19日)

■叙勲・褒章

瑞宝双光章「消防功労」

進(三高28回卒) 安冨

瑞宝单光章「社会福祉功労」

児島 悦子 (三高24回卒)

瑞宝单光章「児童福祉功労」

家田美和子(三高25回卒)

瑞宝双光章「高齢者叙勲」

池田 豊治 (三高4回卒)

旭日単光章「叙位叙勲」

池田 正美(引田18回卒)

香川県教育功労者表彰

中塚 方美(三高41回卒・現職員)

溝渕 正起 (現職員)

古川万里子(旧職員)

香川県教育文化功労者「学校教育」

松浦 隆夫 (三高 31 回卒)

松木 聡司(旧職員)

長年の功績をたたえ、心からお喜び申し上げます。

■寄贈

桑島 正道 (三高6回卒)

写真「三高第6回卒 卒業記念写真(昭30.3) 手札サイズ2枚「旧校舎および旧体育館 |

藤﨑 敦子(三高15回卒)

『南原繁著作集』全10巻

『回想 南原繁』

池下美代子(三高5回卒)=佐藤東子(ペンネーム) 歌集『白風』

短歌会誌『清風』令和4年9月号~令和5年9月号 安倍 道典 (三高3回卒)

『日本映画史の舞台裏』

「令和30年度 東京香川県人会総会」資料 南原繁研究会

『日本の近現代史における南原繁』

万野 年紀(旧職員)

定久学校林写真 (1989~2002)、檜コースター 100周年記念グッズ、野球選抜大会グッズ等

貴重な資料や書籍をご寄贈をいただき、誠 にありがとうございました。

創立記念日 (虎丸登山)

(令和5年4月26日)



天候不良のため、恒例の創立記念虎丸登山は 中止となりました。

第9回 南原ウォーク

(令和4年12月10日)

南原繁先生が毎日通われた相生からの12kmの道のりを3時間かけて歩く「南原ウォーク」を実施しました。生徒会執行部、部活動有志、教職員、PTA、大中三高会、東かがわロータリークラブから約100名が参加しました。生徒会執行部1年生による史跡や観光名所の解説を聞くなどしながら、ウォーキングを楽しみ、三本松高校に到着しました。



讃州井筒屋敷で説明する生徒



相生小学校跡地 南原先生胸像前(出発地点)

部活動等の活動状況

令和 4 年度 (10 月~3 月)

香川県高等学校新人戦大会

【柔道】

男子団体 5 位 井川、西山、オルランド、寺嶋、金氏 →四国大会出場

男子個人

73kg級 3位 西山悠雅→四国大会出場 100kg級 3位 井川陽斗→四国大会出場 女子個人

63kg級 準優勝 板坂百恵→四国大会出場

【フェンシグ】

男子団体 サーブル 第2位 池田、太田、横尾

エペ第2位福家、宮脇、大守

女子団体 サーブル 第2位 穴吹、牟禮、前川

男子個人 サーブル 準優勝 池田涼平

第3位 横尾 駿

エペ 準優勝 大守孔明

第3位 福家羽琉

女子個人 フルーレ 第3位 前川寧夢

サーブル 準優勝 穴吹知世

第3位 前川寧夢

全日本アンサンブルコンテスト東讃・高松大会

打楽器3重奏 銀賞 西尾、宮西、大嶋 サックス5重奏 銀賞

北嶋、森下、梶原、佐々木、新名 金管5重奏 銅賞 新名、湊、坂東、若本、田部 金管8重奏 銅賞 新名、楠原、橋本、湊 池田、冨田、大江、田部

【三高みんなの食堂プロジェクト】全国大会出場

- ○第 11 回イオンエコワングランプリ イオンワンパーセントクラブ賞
- ○エシカル甲子園 2022 奨励賞
- ○日経高校生 SDGs コンテスト 敢闘賞

令和5年度

香川県高等学校総合体育大会

【柔道】男子個人

100kg 級 3 位 井川陽斗→四国大会出場 【フェンシグ】

カエンフラー 男子団体 第3位 池田、横尾、福家、田中

男子個人

サーブル 第4位 池田涼平→四国大会出場 女子団体 第3位 穴吹、牟禮、前川、中条 女子個人

サーブル 第4位 前川寧夢→四国大会出場 【卓球】 女子団体 ベスト8 森、吉井、西川、 岸野、矢野、野瀬、多田、三好

四国高等学校総合体育大会

【フェンシグ】

女子個人 サーブル ベスト8 前川寧夢



全国高校定時制通信制総合体育大会

【柔道】女子個人 63kg 級 細川竜美 出場 「(公財) 石澤奨学会理事長賞」受賞

香川県高等学校弓道大会

女子団体 優勝 数胴、小林、岡部

香川県高等学校新人陸上大会

110mH 4位 大路創太→四国大会出場

香川県高校生科学研究発表会

優秀賞 新居、西山、松村、宮脇→全国高校総文祭出場 「カゼイン樹脂にホエイタンパク質を添加する ことの効果」

優良賞 水口、吉井、石上、大井→全国高校総文祭出場 「振動数を変化させたときのうなりの聞こえ方」 審査員賞 久保、岡本、池田 「アメリカネナシカズラの生態について」

全日本吹奏楽コンクール香川県大会

A部門 銀賞

【三高みんなの食堂プロジェクト】全国大会出場 全国高校生ボランティア・アワード 2023

令和 4 年度 進路状況

(過年度卒業生を含む延べ合格者数)

○国立大学=30

徳島大2 香川大15 愛媛大1 高知大2 大阪公立大1 尾道市立大1 周南公立大1 下関市立1 香川県立保健医療大4 高知工科大2

○私立大学= 227

京都産業大16 京都女子大2 佛教大5 龍谷大6 大阪経済大9大阪工業大1 大阪商業大3 関西大4 関西外国語大1 近畿大34 桃山学院大3 関西学院大1 甲南大2 甲南女子大12 神戸学院大8 岡山理科大9 川崎医療福祉大2 就実大3 広島工業大1 四国大2 徳島文理大18 四国学院大1 高松大2 松山大6 その他76

○短期大学= 10

女子美術大短大1 京都経済短大1 神戸女子短大1 兵庫大短大1 湊川短期大1 四国大短大1徳島工業短大1 高松短大3

○専門学校·各種学校=16

岡山医療セ附属看護1 大阪医療福祉専門1 辻製菓専門学校2 穴吹コンピュータ2 穴吹ビューティ2 キッス調理技術専門1 四国医療専門1 四国医療福祉専門2 その他4

○就職関係=5

香川県庁(学校事務) 大成段ボール株式会社 帝國製薬株式会社 日生化学株式会社 日本郵便株式会社

三高牛の独自の活動

■兵庫研修(令和4年9月26日·27日)



大型放射光施設 SPring-8 の見学では、想像 を遥かに超える規模で、施設全体の 1/4 しか見 学することができませんでしたが、施設の中で さまざまな分野の研究がなされていることに感 銘を受けました。

■屋久島フィールド研修 (令和4年12月11日~15日)



西部林道では、巨大なガジュマルの木が多くあり、そのスケールに 圧倒されました。また、 屋久林ランドでは、局 所的に多様な植生があり、とても興味深く、 さすが世界自然遺産だ と思いました。

■海外語学研修 (令和5年7月13日~28日)



ケアンズ海外語学研修中に訪れたキュランダでは、アボリジニの文化(ブーメラン、ディジュリドゥ、踊り)の体験・学習をしました。また、世界最古の熱帯雨林を間近で見ることができ、訪れたオーストラリアの壮大な自然や歴史に感動しました。

■「三高みんなの食堂プロジェクト」

三高みんなの食堂プロジェクト全体代表 宮西優依 三高みんなの食堂プロジェクトは学食をよりよ いものにしていくことはもちろん、活動を通して 生徒自身の成長や地域とのつながりを増やしてい くプロジェクトです。プロジェクトメンバーは 全校生徒、職員で更に活動したい人たちが集まり プロジェクトリーダーとなっています。学食の経営 や調理は地元農家の方々に担当してもらっていま す。2020年からこの活動が始まったことで学食 でよりおいしい定食、お弁当が食べられるように なったということに加えプロジェクトリーダーに よる野菜の栽培、餅つきなどのイベント開催、地 域イベントの参加で三高の生徒がより主体的に 活動していくことができるきっかけにもなりまし た。また、自分自身もこの活動を通して地域の方々 からたくさんの応援、協力を頂くことが活動を進 めていく原動力になっていると感じました。

私たち高校生が自分の意志で行動して力を発揮することができて、将来のまちづくりにも積極的に関わりたいと思う気持ちが強くなりました。

また、全国大会に何度も出場して発表することができ、このプロジェクト活動を全国的に評価していただいています。さまざまなメディアにも取り上げていただき、地域のみなさんにも喜んでもらえています。

これからも「できることからできるときに自分たちの手で」をコンセプトに活動していきますので応援よろしくお願いします。





地域イベントでのマルシェ

全国大会でのブース発表

■虎丸ゼミ

「虎丸ゼミ」は放課後開催の自主的に参加するゼミです。幅広い分野のスペシャリストとのディスカッションを通して生徒が主体的に学びます。令和4年10月~5年9月は22回開催し、多くの生徒が意欲的に参加しています。

〔25回〕香川大学医学部:心理学〔26回〕県教育委員会:教職について〔27回〕ユニセフ協会: 国際理解講座〔28回〕集中力を高める〔29回〕 中国銀行:金融の仕組み〔30回〕楽器演奏体験(笛)〔31回〕キッコーマン食品:減塩料理 (実習) [32回] 本校生徒(推薦入試合格者): 看護系推薦入試について[33回] グリラス:昆虫タンパク質[34回] 奈良女子大学:脳科学 [35回] キリロム工科大学:国際貢献[36回] フラワーアレンジメント[37回] 元 ALT との 英語交流[38回] 四国財務局:財政を考える [39回] 広島大学:大学での研究の楽しさ[40回] フラワーアレンジメント[41回] 血液疾患元患者: 闘病生活から学ぶ[42回] 宮城大学学生: アントレナーシップ[43回] 京都大学研究室訪問 [44回] 卒業生:医療系進学に向けて[45回] 新しいセッケンの合成法[46回] 地元企業訪問





第38回「財政を考える」

第 45 回「石鹸づくり」

虎丸ゼミは、三高教育後援基金によって実施しています。

香川県立三本松高等学校 教育後援基金について

皆様からいただきましたご寄付等は、下記のと おり使わせていただいております。

令和4年度

合

香川県立三本松高等学校教育後援基金会計決算報告書 (令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

【収	入の	部】					(単位:円)
	費	}		目		決算額	摘 要
前	年	度	繰	越	金	3,461,000	
寄					付	1,884,699	
(_	般	答	 }	付)	(1,334,699)	寄付金、文化祭バザー収益金
(卒業	50周	年記	念寄	:付)	(550,000)	三高24回卒業生有志一同
活	動	1 3	支	援	金	-,,	高校生ボランティアアワード2022支援金イオンエコワングランプリ支援金えひめグローバルネットワーク東かがわロータリークラブ、高松ロータリークラブ、高松ロータ
雑		1	X.		入	228,929	「瀬戸内おもいやりごはん」売上 預全利自

9,370,490

【支出	日の部]			(単位:円)
	費	目		決算額	摘 要
特	別	活 動	費	718,944	「三高みんなの食堂プロジェクト」活動費 「瀬戸内おもいやりごはん」食材費等
部	活動	動 指 導	費	22,795	部活動外部指導者指導料
学	習	支 援	費	0	
講		演	費	134,678	「虎丸ゼミ」講師料(6名)
事		務	費	46,658	「IKUNAS」購入代
予		備	費	0	
	合	計		923,075	

収入決算額 支出決算額 差引残額 9,370,490 円 - 923,075 円 = 8,447,415 円・・・次年度へ繰越



学年同窓会を開催しませんか?

大中三高会の会員が開催する学年全体の同窓会に対して、開催費用の一部を補助する「同窓会開催補助金制度」(3万円)を創設しました。

この制度は、会員が母校に思いを馳せる機会、また、会員間の親睦を深める機会として の学年同窓会の開催を助成するものです。

事前の申請・審査が必要です。開催をお考えの幹事の方は下記事務局へお問い合わせください。

補助金支給条件

- ●大中三高会の会員で、同学年全体の同窓会を開くとき。
- ●参加した会員全員の情報(氏名・住所)を報告する。 また、報告された情報を大中三高会卒業生データベース に登録することを了承する。
- ●開催の様子をホームページに掲載することを了承する。
- ●大中三高会会報 (毎年10月1日発行) に寄稿する。
- ●開催報告書の提出。
- ●実施できなかった場合は、直ちに補助金を返却する。





◆会費納入について<年会費2,000円>



A コンビニで 振り込む



B郵便局で 振り込む



C 窓口で 納入する

- ※現金振込の場合は、手数料をご負担いただくことになります。
- ※本部役員の皆様には、従来どおり郵便局のみでの振り込み用紙を同封させていただきますので、 お近くの郵便局にて、年会費5,000円をお振り込みください。

【振込先】ゆうちょ銀行 口座 01680-9-6242 名義 大中三高会

◆会報の送付について

会報は、会費納入者の方に納入後2年間および卒業後6年間、お送りさせていただきます。

今後とも皆様から納付された会費は有効に活用させていただきますので、会費納入に ご協力をお願いいたします。



なお、会報および同窓会活動につきましては、三本松高校HPに掲載していますのでご覧ください。

◆住所等変更について 住所等の変更は、下記事務局までご連絡ください。

大中三高会報 No.52/2023年(令和5年) 10月1日発行

香川県立三本松高等学校同窓会 大中三高会 〒769-2601香川県東かがわ市三本松1500番地1 Tel&Fax 0879-24-1660 E-mail ashitanitakaku@gmail.com

